

モバイルカラーTV

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。

この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

XTL-W85

警告 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった取り付けかたや使いかたをすると、火災や感電、交通事故などになることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



安全のための注意事項を守る

この取扱説明書および「取り付けと接続」の注意事項をよくお読みください。

道路交通法に従って安全運転する

運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこたるなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となることがあります。

- 運転者は走行中に操作をしない。
- 運転中に画面を注視しない。
- 車外の音が聞こえる程度の音量で聞く。
- ナビゲーションでのルート案内時は、一方通行など実際の交通規制に従って運転する。
- 自動車の運転中にテレビモニターの画面を凝視することは法律により制限されています。

定期的に点検する

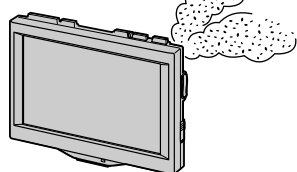
1年に1度は、電源コードに傷みがないか、振動により配線がはずれていないか、接続部分が車体と接触していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口で修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、
煙が出たら



- ① 安全な場所に車を止める
- ② 電源を切る
- ③ お買い上げ店またはソニーサービス窓口で修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および「取り付けと接続」、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止





下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

取り付けは確実に行う

別冊の「取り付けと接続」の説明に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電の原因となります。

内部に水や異物を落とさない



禁止

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、必ず電源コードのヒューズケースまたは本体に記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を越えるヒューズを使うと、火災の原因となります。

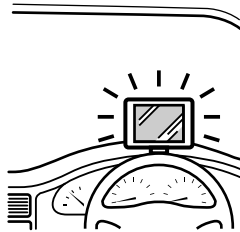
前方の視界を妨げる場所に、モニターを取り付けない

前方の視界の妨げになると、事故やけがの原因となることがあります。

また、取り付ける場所が、助手席用エアバッグシステムの動作の妨げにならないことを確認してください。



禁止

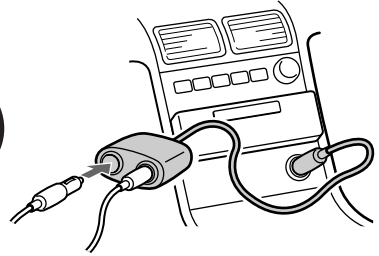


タコ足配線はしない

二又ソケットなどを利用したタコ足配線から電源を取ると配線が加熱し、火災や感電の原因となります。



禁止

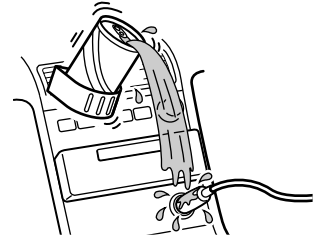


シガープラグに水などをかけない

水などがかかると火災や感電の原因となります。万一、水などがかかったときは、すぐにプラグを抜き、水分をきれいに取り除いてください。



禁止

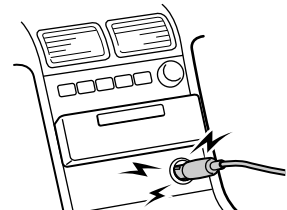


シガープラグは確実に挿入する

奥まで確実に挿入してください。挿入が不完全だと異常発熱する恐れがあります。また、シガープラグを差し込むときや抜くときは、イグニッションスイッチをOFFにしてください。



禁止



分解や改造をしない



分解禁止

火災や感電、事故の原因となることがあります。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。

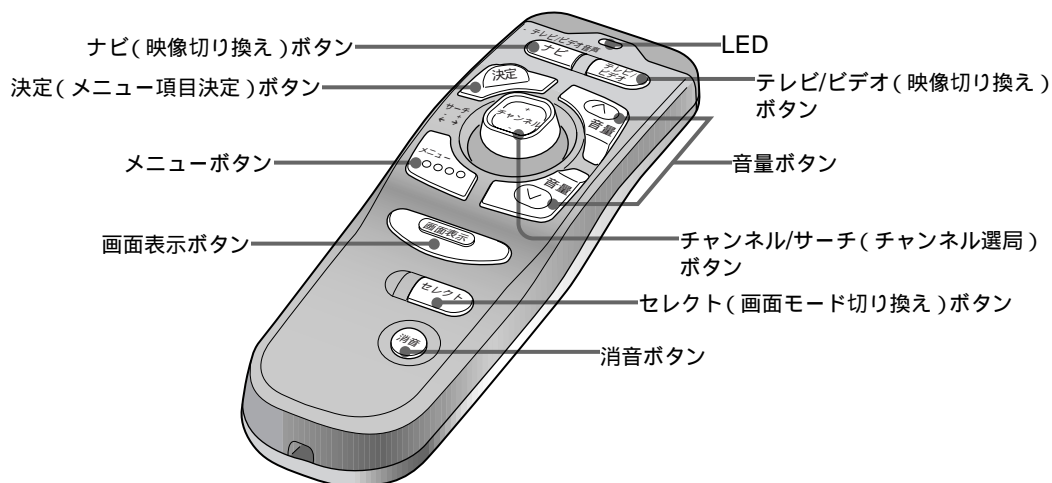
目次

⚠ 警告/⚠ 注意	2
各部のなまえ	5
リモコン	5
モニター	5
準備	6
テレビ局を自動で登録する	6
テレビを見る	7
テレビ番組を見る	7
ナビシステムの画面を見る	7
ビデオなどを見る	7
いろいろな機能	8
ワイド画面で見る	8
ナビ画面を見ながら他の音声を聞く(サイマル機能)	9
音声を消す(アッテネート機能)	9
各種の設定	10
画質を調整する	10
二重音声の設定	11
ステレオ音声の設定	11
本体およびリモコン操作音の設定	12
チャンネルを手動で設定する	12
FM周波数の設定(FMステレオトランスミッター)	13
テレビ本体でのメニュー操作	14
その他	15
ご注意/お手入れ	15
故障かな?と思ったら	17
保証書とアフターサービス	17
主な仕様	18
索引	19

各部のなまえ

この取扱説明書では、登録や設定などのメニュー操作をリモコンで行うことを中心に説明します。

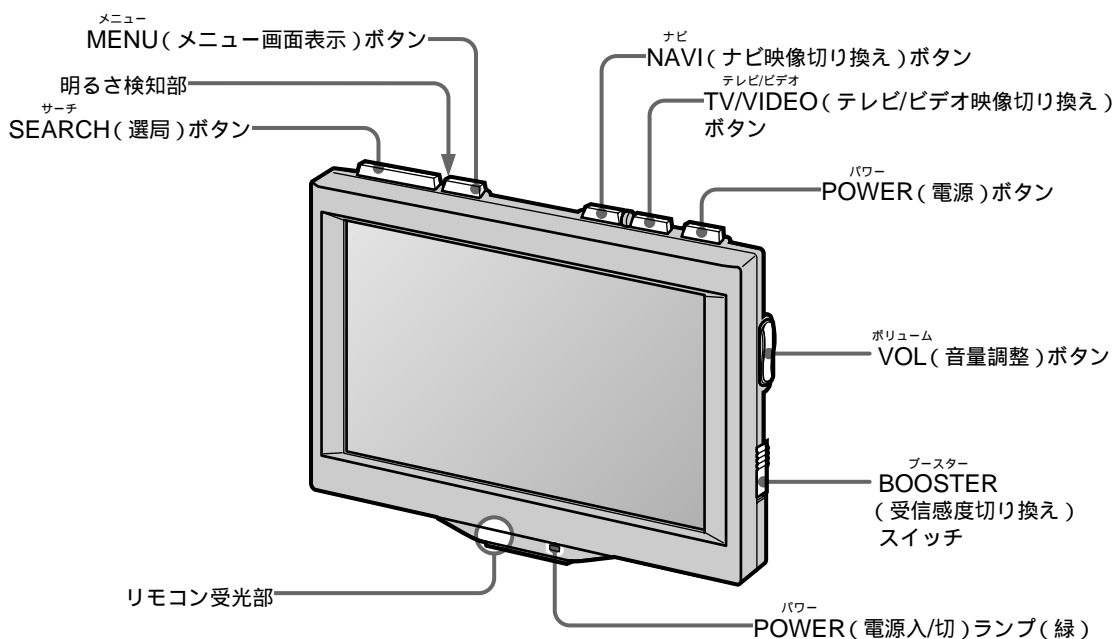
リモコン



各部のなまえ

モニター
リモコン

モニター



準備

安全のために

チャンネル登録設定やテレビを見るときは、安全な場所に停車してパーキングブレーキを確実に機能させた状態で操作してください。

モニター画面の明るさについて

トンネルや夜間の使用時にモニターの画面が明るすぎる場合は、「調光」を調整して画面を暗くしてください。「調光」について詳しくは、「画質を調整する」(10ページ)をご覧ください。

メニュー操作時のご注意

メニュー操作は画像の安定した状態で行ってください。

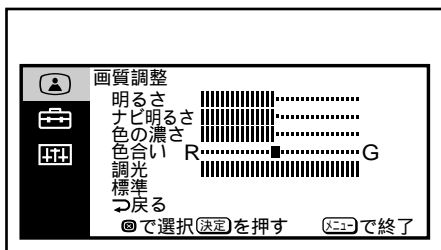
テレビ局を自動で登録する

現在ご覧になれるVHF/UHFのテレビチャンネルを1~12のチャンネルポジションに自動的に割り当てます。お買い上げ時には、VHF放送の1~12チャンネルが設定されています。

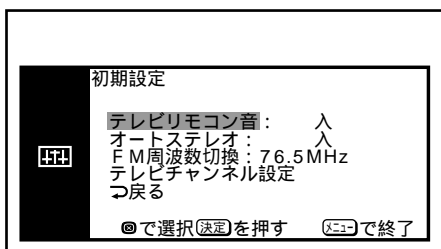
1 テレビ/ビデオボタンを押す

テレビまたはビデオ画面になります。

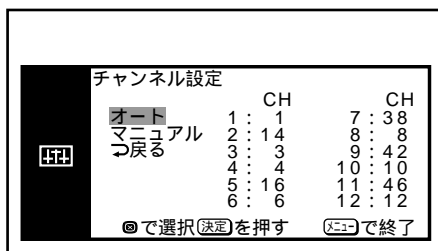
2 メニューボタンを押す



3 チャンネル/サーチボタンを上下に押し、**[F1]**(初期設定)を選び、決定ボタンを押して決定する



4 「テレビチャンネル設定」を選び、決定する



5 「オート」を選び、決定する

画面右上に検索しているチャンネルが表示され、自動的に現在ご覧になれるチャンネルが1から最大12までのチャンネルポジションに順次登録されます。

6 設定が終わったら、メニューボタンを押す

登録されたチャンネルを変えたいときは「チャンネルを手動で設定する」(12ページ)で設定し直してください。

十分な受信感度が得られないときは

ブースター
テレビ本体のBOOSTERスイッチを「ON」にすると、よりよく電波を受信することができます。TVアンテナを車室内に取り付けた場合などに有効です。

スイッチが「ON」の状態から放送塔の近くなどで受信すると、映像がつぶれることがあります。その場合は、「OFF」にしてください。

テレビを見る

各ボタンの位置については、「各部のなまえ」(5ページ)をご覧ください。

テレビ番組を見る

1 テレビ本体のPOWER(電源)ボタンを押す

POWERランプが点灯し、画像が映ります。

画面が明るすぎる場合は「調光」を調整して画面を暗くすることができます。(「画質を調整する」10ページ参照)

2 テレビ本体のTV/VIDEOボタン(またはリモコンのテレビ/ビデオボタン)を押す

ボタンを押すたびに、テレビ画面とビデオ画面が切り換わります。

3 チャンネルを選ぶ

テレビ本体のSEARCHボタンの左右を押します。(または、リモコンのチャンネル/サーチボタンを上下に押します。)

4 音量を調整する

テレビ本体の側面にあるVOLボタンの+/-を上下に押します。(または、リモコンの音量ボタンの^/vを上下に押します。)

テレビを消すには
テレビ本体のPOWER(電源)ボタンを押します。

チャンネル番号を画面に表示するには
画面表示ボタンを押します。もう1度押すと表示が消えます。

十分な受信感度が得られないときは
ブースター
テレビ本体のBOOSTERスイッチを「ON」にすると、よりよく電波を受信することができます。TVアンテナを車室内に取り付けた場合などに有効です。

スイッチが「ON」の状態では放送塔の近くなどで受信すると、映像がつぶれることがあります。その場合は、「OFF」にしてください。

ナビシステムの画面を見る

ナビゲーションシステム(別売り)を接続したときのみの機能です。

テレビ本体のNAVIボタン(またはリモコンのナビボタン)を押す

ナビ画面を消すには
テレビ本体のPOWER(電源)ボタンを押す。

 ご注意

- ・ナビ画面とテレビ(またはビデオ)画面を同時に表示することはできません。
- ・ナビゲーションの操作は、ナビゲーションシステム側のリモコンで行ってください。
- ・本機のPOWERスイッチは、ナビゲーションシステムの電源の入/切と連動していません。

ビデオなどを見る

別売りのビデオ機器などを接続し、ビデオを見ることができます。

テレビ本体のTV/VIDEOボタン(またはリモコンのテレビ/ビデオボタン)を押す

ボタンを押すたびに、テレビ画面とビデオ画面が切り換わります。

 ご注意

- ・ナビ画面とテレビ画面を同時に表示することはできません。
- ・ビデオ機器の操作は、ビデオ機器側のリモコンで行ってください。
- ・本機のPOWERスイッチは、ビデオ機器の電源の入/切と連動していません。

準備/テレビを見る

ナビシステムの画面を見る
テレビ局を自動で登録する


ビデオなどを見る
テレビ番組を見る

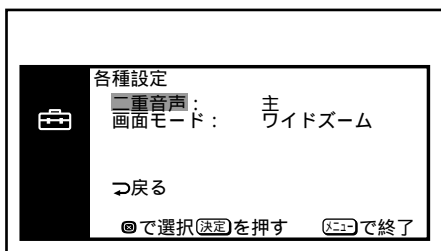
いろいろな機能

各ボタンの位置については、「各部のなまえ」(5ページ)をご覧ください。

ワイド画面で見る

テレビ画面は、通常の表示画面サイズ(4:3)のほかに、フル(全表示画面)、ズーム画面、ワイドズーム画面に切り換えられます。

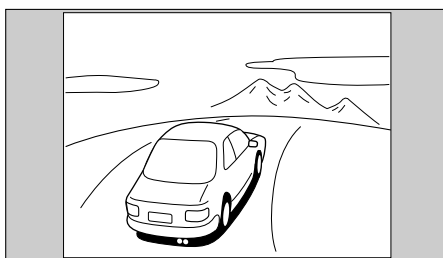
- 1 **テレビ/ビデオボタンを押す**
テレビまたはビデオ画面になります。
- 2 **メニューボタンを押す**
- 3 **チャンネル/サーチボタンを上下に押し**て  (各種設定) を選び、**決定ボタン**を押して決定する



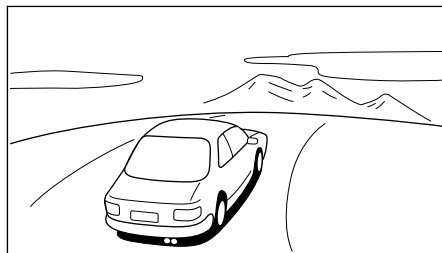
- 4 **「画面モード」を選び、決定する**
- 5 **チャンネル/サーチボタンを左右に押し**て画面モードを選び、**決定する**(またはセレクトボタンを繰り返し押し)

セレクトボタンを押す場合、上記の2から4の手順は不要になります。

ノーマル(通常): 横縦比4:3の映像
(テレビ/ビデオ画面時のみ)



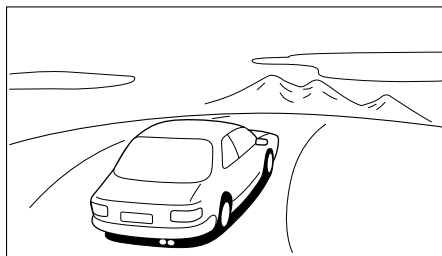
ワイドズーム: 横縦比4:3の映像の左右周辺だけを画面サイズに合わせて拡大
(テレビ/ビデオ画面時のみ)



ズーム: 横縦比4:3の映像全体を左右に合わせて拡大し、上下をカット
(テレビ/ビデオ画面時のみ)



フル: 横縦比4:3の映像の左右を画面サイズに拡大
(ナビシステムの画面は常にフルです。)



(ノーマルに戻る)

ご注意

- 本機は各種の画面サイズ切り換え機能を備えています。テレビ番組などソフトの映像比率と異なる画面サイズを選択されますと、オリジナルの映像とは見え方に差がでます。この点にご留意の上、画面サイズをお選びください。
- 本機を営利目的または公衆に視聴させることを目的として、画面サイズ切り換え機能等を利用して画面の圧縮や引き伸ばし等を行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますのでご注意ください。
- ワイド映像でない従来の4:3の映像をズームおよびワイドズームを利用して画面いっぱいに表示してご覧になると周辺画像が一部見えなくなったり変形して見えることがあります。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像はノーマルでご覧になれます。
- ズームでご覧になると、画像が荒くなります。
- 家庭用のワイドテレビとはワイドズームが異なります。
- メニュー表示のモードを切り換えただけでは画面は変わりません。メニューを終了すると切り換わります。

ナビ画面を見ながら他の音声を聞く（サイマル機能）

ナビシステムの画面を映しながら、テレビの音声を同時に聞くことができます。

1 テレビを見ているときに、ナビボタンを2秒以上押す

ナビ画面を映しながら、音声は表示されているテレビのチャンネルの音声になります。

2 サイマル機能を解除するには、テレビ/ビデオボタンを押して、テレビまたはビデオ画面に戻す

音声を消す（アッテネート機能）

1 消音ボタンを押す

画面左下に「消音」と表示されます。

2 音声を元の音量に戻すには、消音ボタンを押す

音量ボタンを押して音量を変えたときも、消音が解除されます。

各種の設定

各ボタンの位置については、「各部のなまえ」(5ページ)をご覧ください。

テレビ本体で操作をする場合は、「テレビ本体でのメニュー操作」(14ページ)をご覧ください。

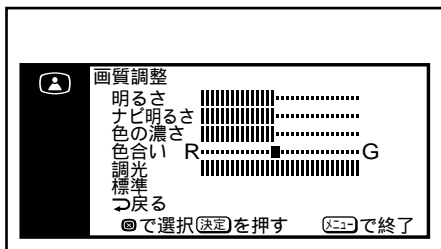
画質を調整する

周囲の明るさや見る位置に合わせての明るさ、画面の色の濃さや色合いを調整し見やすくすることができます。

1 メニューボタンを押す

メニュー画面になります。

2 チャンネル/サーチボタンを上下に押し、 (画質調整) を選び、決定する



3 調整項目を選び、決定する

「標準」を選んで決定すると、「調光」以外の項目がお買い上げ時の設定に戻ります。

4 チャンネル/サーチボタンを左右に押し調整し、決定する

	左に押す	右に押す
明るさ	暗くなる	明るくなる
ナビ明るさ*	暗くなる	明るくなる
色の濃さ	淡くなる	濃くなる
色合い	赤みがる	緑がる
調光**	機能が強く効く	機能が弱く効く

* 「ナビ明るさ」は、テレビ/ビデオ画面時に調整します。調整時には、自動的にナビ画面になります。

** 「調光」は、オートディマー機能ともいいます。オートディマー機能とは、夜間やトンネルなど、周囲の明るさに合わせて画面が暗くなる機能のことです。オートディマーを強く効かせるには、左に押しつづけます。お買い上げ時には、オートディマーが効いていない状態になっています。

5 設定が終わったら、メニューボタンを押す

● ちょっと一言

明るさの調整には、次の3種類があります。

明るさ：テレビ画面の明るさ

ナビ明るさ：ナビ画面の明るさ

調光：画面を見やすくするためにバックライトの明るさを落とす度合い

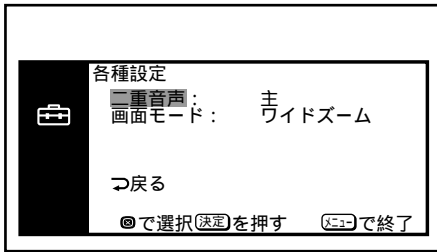
二重音声の設定

二重音声放送時の音声(主音声と副音声)を設定します。

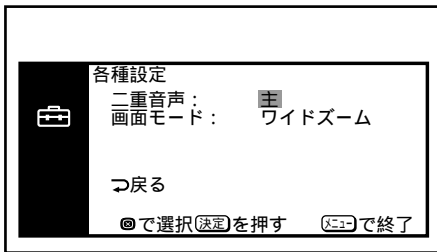
1 メニューボタンを押す

メニュー画面になります。

2 チャンネル/サーチボタンを上下に押し、**各種設定**を選び、決定する



3 「二重音声」を選び、決定する



4 チャンネル/サーチボタンを左右に押し、「主」または「副」を選び、決定する

主：主音声のみ出力する

副：副音声のみ出力する

5 設定が終わったら、メニューボタンを押す



ご注意

初期設定画面の「オートステレオ」を「切」に設定したときは、二重音声を楽しむことはできません。

ステレオ音声の設定

ステレオ放送時の音声を設定します。

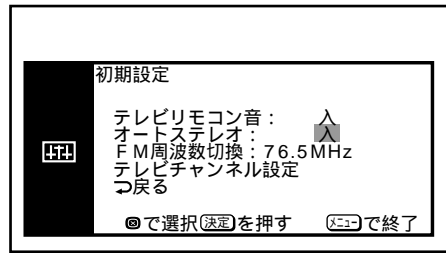
1 メニューボタンを押す

メニュー画面になります。

2 チャンネル/サーチボタンを上下に押し、**初期設定**を選び、決定する



3 「オートステレオ」を選び、決定する



4 チャンネル/サーチボタンを左右に押し、「入」または「切」を選び、決定する

入：ステレオ放送のときは自動的にステレオになり、画面に「ステレオ」と表示されます。

切：ステレオ放送が聞き取りにくいときに「切」にします。音はモノラルになりますが、聞き取りやすくなります。

5 設定が終わったら、メニューボタンを押す

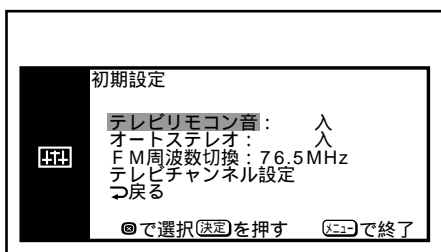
本体およびリモコン操作音の設定

リモコン操作時の操作確認音を消すことができます。

1 メニューボタンを押す

メニュー画面になります。

2 チャンネル/サーチボタンを上下に押し、初期設定を選び、決定する



3 「テレビリモコン音」を選び、決定する



4 チャンネル/サーチボタンを左右に押し、「入」または「切」を選び、決定する

入: 操作音が出る

切: 操作音が出なくなる

5 設定が終わったら、メニューボタンを押す

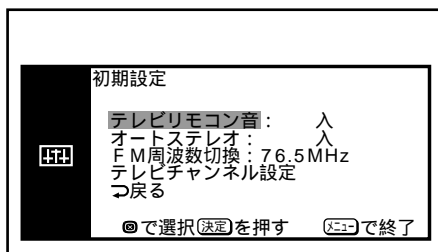
チャンネルを手動で設定する

自動設定したチャンネルを変更するときや郊外でよくお使いになるときなどに手動で設定します。

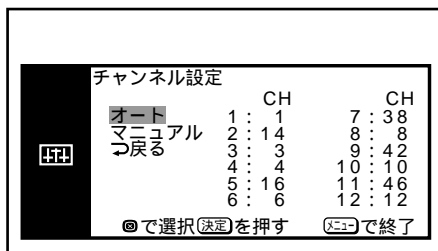
1 メニューボタンを押す

メニュー画面になります。

2 チャンネル/サーチボタンを上下に押し、初期設定を選び、決定する

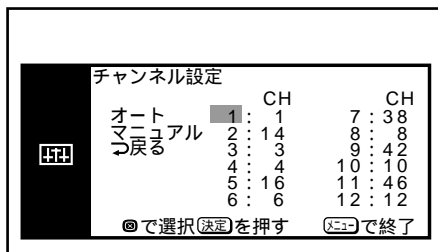


3 「テレビチャンネル設定」を選び、決定する



4 「マニュアル」を選び、決定する

カーソルが登録番号「1」に移ります。



5 変更または登録したいチャンネルポジションを選び、決定する

チャンネルポジションを選ぶと登録されていたチャンネルの映像に切り換わります。また、今まで登録されていないチャンネルポジションを選んだときは、その前に映し出されていた映像のままです。

6 登録したいチャンネルを選び、決定する

チャンネル/サーチボタンは、次のような操作になります。

上下に押すと、手動でチャンネル切り換えができます。

左右に押すと、自動的に次に受信できるチャンネルにとびします。

チャンネルの変更/設定時は画面にチャンネルの映像が映しだされますので、画面を見ながら設定できます。

7 手順5～6を繰り返して、設定する

8 設定が終わったら、メニューボタンを押す

●●● ご注意

チャンネル設定中に受信状態の悪いチャンネルが映り、メニュー画面が見えにくくなることがあります。このときはチャンネル/サーチボタンを左右に動かして、受信状態の良いチャンネルを自動的に受信させてから、設定を続けてください。

十分な受信感度が得られないときは

テレビ本体のBOOSTERスイッチを「ON」にすると、よりよく電波を受信することができます。TVアンテナを車室内に取り付けた場合などに有効です。

スイッチが「ON」の状態では放送塔の近くなどで受信すると、映像がつぶれることがあります。その場合は、「OFF」にしてください。

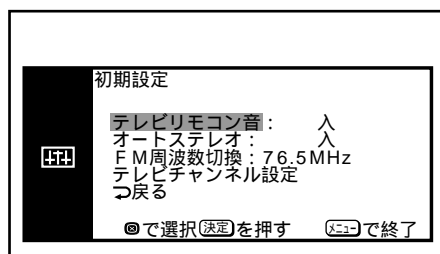
FM周波数の設定 (FMステレオトランスミッター)

テレビやビデオの音声をFM信号に変換して、カーオーディオのFMチューナーで受信して聞くことができます。

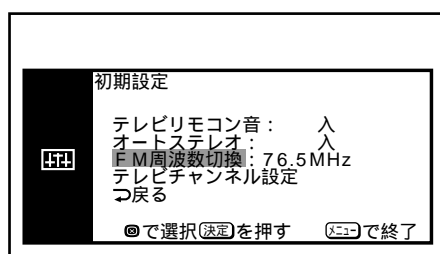
1 メニューボタンを押す

メニュー画面になります。

2 [F.M.] (初期設定) を選び、決定する



3 「FM周波数切換」を選び、決定する



4 カーソル/決定ボタンを左右に押し、送信周波数を設定し、決定する

設定できる周波数は、FM76.5MHz～79.5MHzです。ボタンを押すたびに0.1MHz単位で変化し、押しつづけると連続して変化します。

FMステレオトランスミッター出力を切るには「切」に(79.5MHzの次)設定します。

次ページへつづく

5 設定が終わったら、メニューボタンを押す

6 カーオーディオのFM受信周波数を、手順4で設定した周波数に合わせる

音量の調節は

カーオーディオ側で行います。

本機からも同時に音声が出力されていますので、本機の音量を小さめにしておいてください。

 **ご注意**

- FM周波数の設定は、FMラジオ放送の放送周波数を避けて設定してください。
- カーオーディオのサーチモードでFM受信周波数を合わせると、設定した周波数で止まらないことがあります。その場合は、手動で合わせてください。

テレビ本体でのメニュー操作

テレビ本体でメニュー操作するときは、VOLボタンが項目選択、SEARCHボタンが設定調整、NAVIボタンが決定の役割をします。（「各部のなまえ」5ページもあわせてご覧ください。）
例えば画質調整画面で色合いを調整するには次のように操作します。

1 メニュー
MENUボタンを押す

メニュー画面が表示されます。

2 ナビ
NAVIボタンを押す

画質調整画面になります。他の画面を表示するにはVOLボタンで画面を選んで、NAVIボタンを押します。

3 ボリューム
VOLボタンで「色合い」を選び、NAVIボタンを押す

4 サーチ
SEARCHボタンで色合いを調整し、NAVIボタンを押す

他のメニューも同様の操作で設定できます。

その他

ご注意/お手入れ

プラスチック部品について

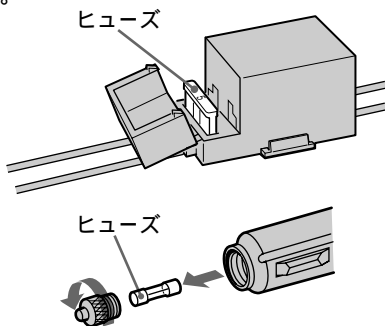
モニターやリモコンなどのプラスチック部品に、殺虫剤やヘアスプレー、ガラスクリーナーなどをかけたり、防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品を長時間接触させないでください。本体表面が変質、変形したり、塗装がはげたりすることがあります。

異物について

内部に液体をこぼしたり、燃えやすいものや金属類を落とさないでください。そのままご使用になると火災や感電、故障、事故の原因となります。

ヒューズの交換について

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記してある規定容量(アンペア数)のヒューズをお使いください。規定容量以上のヒューズや針金で代用すると故障の原因となるだけでなく大変危険です。プラグ先端部をはずし、ヒューズを取り出します。新しいヒューズを入れ先端部をしっかりと締めます。



シガープラグについて

イグニッションキーをOFFにしても、シガレットライターソケットへの電源が切れない車があります。(シガープラグ後部のLEDが消えません。)このような車でご使用の場合、使い終わったら必ずシガープラグを抜いてください。接続したままにしておくと、バッテリーがあがってエンジンがかからなくなります。

シガープラグの取扱上のご注意

- ヒューズ交換などの修理をご依頼のときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口へご持参ください。
- 自動車のシガレットライターソケットの内部が汚れていると、接触不良によりプラグ部分が熱くなることがあります。お使いになる前に必ずきれいにしてください。
- 動作中および使用直後は、シガープラグやシガレットライターソケットが熱くなっています。手を触れるとやけどやけがの原因となります。

無線機や携帯電話について

本機の近くで無線機や携帯電話を使用すると、画像が乱れることがあります。本機から遠ざけるか、使用をやめてください。

レーダー探知機などについて

レーダー探知機などを動作させると、その電波の影響により本機や本システムが正しく動作しないことがあります。

液晶パネルについて

- 液晶パネルの前面を強く押さないでください。画面にムラが出たり、液晶パネルの故障の原因になります。
- お手入れについては、次のことにご注意ください。
 - 液晶パネルについたほこりやゴミ、指紋などは柔らかい布でふきとってください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤を布に含ませてふきとってください。
 - ベンジン、アルコールなどは使用しないでください。
 - 静電気防止剤なども、逆に液晶パネルを傷めることがありますので使用しないでください。
- 寒いところで使用になる場合、内部照明装置(バックライト)が暗くなりますが、車内の温度が上がるともとに戻ります。
- 温度が5 以下または45 以上のところではご使用にならないでください。
- かなりの低温または高温になると映りが悪くなることがありますが、故障ではありません。常温に戻ると回復します。

液晶パネルの輝点について

モニター画面の同じ場所に、青い点や赤い点などが現われることがあります。このような現象を輝点といいます。液晶パネルの性質上発生するものです。液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯する画素があります。また、電源を切ったときに数秒間画面に乱れが出ることがあります。あらかじめご了承ください。いずれの場合もお使いになる上で支障はありません。

付属のテレビアンテナについて

盗難やいたずらなどを防止するために、付属のテレビアンテナは、簡単に取りはずしができるようになっています。洗車機にかける場合には、必ずTVアンテナをはずしてください。

TVアンテナのはずしかたについては、別冊の「取り付けと接続」をご覧ください。

事故防止のために

テレビ/ビデオ画面は、車を止めて、パーキングブレーキを引いてあるときのみ映ります。パーキングブレーキを戻すと、安全のため下のような画面を約5秒間表示した後、自動的にテレビ/ビデオ画面を消し、音声のみとなります。

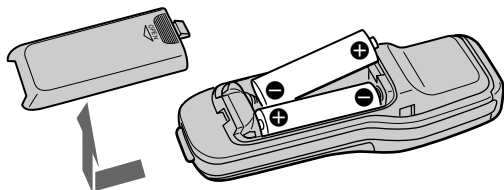
安全のため走行中は
映像が出ません

運転をしながら、コネクションボックスに接続されている機器を操作したり、モニターの画面を見たりしないでください。事故につながるおそれがあり、危険です。

リモコン

電池の入れかた

単3形乾電池2本(付属)を+と-を正しく入れる。



イラストのように、必ず⊖極側から電池を入れてください。

乾電池について

電池の交換時期

普通の使いかたで約6か月もちますが、使いかたによっては、電池の寿命は短くなります。電池が消耗するとボタンを押しても操作できないこともあります。リモコンがまったく動作しない場合は電池を交換し、動作を確認してください。

リモコンの操作ボタンを押したとき、LEDの点滅が弱くなった場合は、電池の寿命です。

リモコンについてのご注意

- ダッシュボードの上やハンドルの上など、直射日光の当たるところにリモコンを取り付けたり放置しないでください。熱によりリモコンが変形するおそれがあります。(特に夏季の直射日光の当たるダッシュボードの上はかなりの高温になりますのでご注意ください。)
- 直射日光の当たるところに車を駐車するときは、リモコンを取り付け場所からはずし、グローブボックスの中など直射日光の当たらないところに保管してください。
- 直射日光下ではリモコンの信号が受信されにくくなる場合があります。このようなときは、モニターの受光部にリモコンを近づけて操作してください。

電池についての安全上のご注意

液漏れ、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。

⚠ 警告

- 火の中に入れてはいけない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 乾電池は充電しない。
- 指定された種類の電池を使用する。

⚠ 注意

- +と-の向きを正しく入れる。
- 電池を使い切ったときや長時間使用しないときは、取り出しておく。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

もし電池の液漏れが起こったときは、電池入れの液をよくふきとってから、新しい電池を入れてください。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

故障かな？と思ったら

症状	原因(および処置)
音は出るが、画像が出ない。	テレビまたはビデオ画面で走行している。 → 走行中は安全のため画面は映りません。
画像、音がまったく出ない。	• カーバッテリーコードがシガレットライターソケットからはずれている、またはしっかり接続されていない。 • POWERボタンを押す。 • テレビ/ビデオ(画面切り換え)ボタンを押す。
画像がぶれる。	アンテナ線がはずれかかっていたり、山やビルで反射した電波がアンテナに飛び込む場合は、画像がぶれることがあります。
画像は出るが音が出ない。	リモコンの音量ボタンまたはモニターのVOLボタンで、音量を上げる。
つないだ機器の画像や音が出ない。	• 接続コードがはずれている、またはしっかり接続されていない。 • テレビ/ビデオ画面切り換えボタンを押す。
はん点や点模様が走る。	アンテナは、なるべく雑音源(エンジン、バイクなど)から離してください。
リモコンのボタンを押しても反応がない。	リモコンの乾電池が消耗している。
FMチューナーで音声がかえらない	TVチューナーで設定した周波数と合っていない。 → 設定した周波数に合わせます。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェック
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは
お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。くわしくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では本製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

主な仕様

モニター

種類	ワイド液晶カラーモニター
表示方式	透過型TN液晶パネル
駆動方式	TFTアクティブマトリックス方式
画面の大きさ	176.4×99.2mm、202.4mm (幅×高さ、対角線径)
画素数	336,960画素
受信方式	NTSC方式
受信チャンネル	1CH～12CH(VHF) 13CH～62CH(UHF) (TVステレオ、音声多重)
スピーカー	φ40mm モノラルスピーカー
電源	DC12V
消費電流	約1.5A
外形寸法	199.2×135×29.5mm (幅×高さ×奥行き)最大突起部含まず
質量	約490g
使用温度範囲	+5 ~ +45

コネクションボックス

電源	DC12Vカーバッテリー
消費電流	約0.05A
出力端子	アンテナ出力：ミニジャック モニター出力：22ピン角型(専用)
入力端子	映像入力(1系統): RCAピンジャック 1Vp-p、75 音声入力(1系統): RCAピンジャック - 10dBs、10k TVアンテナ入力(4系統): ミニジャック ナビ入力：22ピン角型(専用)
外形寸法	173.6×44.5×30.4mm (幅×高さ×奥行き)最大突起部含まず
質量	約210g

ワイヤレスリモコン

電源	単3乾電池×2
外形寸法	40×28×128mm(幅×高さ×奥行き) 最大突起部含まず
質量	約100g 乾電池を含む

TVアンテナ

コード	7m、75 ×4(ミニプラグ付き)
形状	191.7×26×43.6mm (エレメント収納状態、基台含む)
質量	約360g (アンテナ1本およびケーブルを含む)

付属品

ワイヤレスリモコン(1)
単3乾電池(2)
取り付け/接続部品(一式)
取扱説明書(一式)
ソニーご相談窓口のご案内(1)
保証書(1)

別売り品

モバイルTVアンテナ VCA-13
(車室内用)

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

索引

あ行

明るさ	10
アッテネート機能	9
色合い	10
色の濃さ	10
液晶パネル	15
FM周波数切換	13
FMステレオ トランスミッター	13
オートステレオ	11
オートディマー	10

か行

各部のなまえ	5
画質の調整	10
画面サイズ	8
画面モード	8

さ行

サイマル機能	9
シガープラグ	15
主音声	11
消音	9
ステレオ音声	11
ズーム画面	8
操作音の設定	12

た行

調光	6、10
チャンネル番号表示	7
チャンネル 自動登録	6
手動登録	12
テレビ チャンネル設定	6、12
テレビを見る	7

な行

ナビ画面で 他の音声を聞く	9
ナビ画面の明るさ	10
ナビ画面を見る	7
二重音声	11
ノーマル画面	8

は行

ビデオを見る	7
ヒューズ	15
副音声	11
フル画面	8

ま、や行

見る テレビ	7
ナビシステム	7
ビデオ	7
ミュート(消音)機能	9
モニター	5

ら行

リモコン	5
リモコン操作音	12

わ行

ワイドズーム画面	8
----------------	---

保証期間中の操作や取り付け・接続、故障に関するお問い合わせは

テクニカルインフォメーションセンターへ
(カーAV/カーオーディオ専用)

0120-64-0131(フリーダイヤル)

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客様相談センターへ

● ナビダイヤル……………  0570-00-3311

(全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます)

● 携帯電話・PHSでのご利用は… 03-5448-3311

● Fax ……………… 0466-31-2595

受付時間：

月～金

9:00～

20:00、

土・日・祝日

9:00～

17:00

Sony  line <http://www.world.sony.com/>

「Sony online」は、インターネット上のソニーのエレクトロニクスとエンターテインメントのホームページです。

この説明書は再生紙を使用しています。



* 1 - 3 - 2 2 4 - 0 6 5 - 0 1 * (1)